

海上保安施設の耐災害性向上による海上保安通信の維持 (沖縄県糸満市)

3か年緊急対策

国土強靱化

災害時の効果発揮事例

NATIONAL RESILIENCE

効果概要: 令和5年6月1日から大雨や台風2号の影響で、沖縄県糸満市等で停電が発生したが、同市所在の喜屋武NAVTEX送信所(※)については、緊急対策として整備した非常用電源設備からの給電により同送信所の稼働が継続され、航行船舶に対する台風情報等の海上安全情報の送信を維持することができた。

府省庁名: 海上保安庁

※NAVTEX送信所…船舶の安全航行に必要な気象警報や航行警報、海難情報などの海上安全情報の放送を実施

■ 実施主体: 海上保安庁

■ 対策の概要:

陸上通信施設の点検を行い、耐災害性の向上の観点から更新の必要性が判明した箇所として非常用電源設備(発電機)設置の対策を講じたもの。

■ 事業費: 事業費約1,700万円

(うち3か年緊急対策による事業費約1,700万円)

■ その他:

喜屋武NAVTEX送信所所在の糸満市内では、470戸の停電が発生。(沖縄電力HPより)



緊急対策として整備した非常用電源設備